

姉妹都市オリンピア市へ行ってみませんか？

平成23年度に、ワシントン州オリンピア市へ中高生を派遣します。現地家庭でのホームステイを通して、アメリカの生活を体験しませんか。

日 程 8月16日(火)~26日(金)
11日間の予定

対 象 市内在住・在学の中学・高校生

募集定員 15人程度

参加費用 15万円程度(助成あり)

募集期間 4月4日(月)~4月25日(月)

そ の 他 募集定員を超えた場合は、平成22年度オリンピア市学生訪問団のホスト学生を優先します。

主 催 加東市国際交流協会

問い合わせ 企画部企画政策課(社庁舎) ☎43-0389



まちの魅力をご紹介します オリンピア市ってどんなところ？

オリンピア市は、アメリカ北西部に位置するワシントン州の州都で、州政府機関や州裁判所などがあります。ピュージェット湾南部地域の文化・商業・娯楽の中心地で、環境保護活動が活発な地域としても知られています。また、オリンピア市は街の活気と、海・山・湖等でのアウトドア活動へのアクセスの良さから、2003年には全米で最も環境の良い大学街の一つに選ばれています。



人口 45,500人
面積 46km²
(加東市の約3分の1)

教育機関
小学校12、中学校4、
高校2、大学3

加東市との姉妹都市交流
昭和56年4月に旧社町と姉妹都市提携を結び、平成18年10月には加東市として再提携しました。昭和56年に始まった親善使節団の相互訪問では、派遣15回(319人)受入14回(198人)、昭和62年に始まった青少年交換留学では、派遣10回(123人)受入12回(190人)の交流を重ねてきました。



旧社町との交流を記念して平成16年に作られた「オリンピア社友好の橋」



地元の農・海産物や手作り工芸品などが手に入る「ファーマーズマーケット」



美しいドーム建築と豪華な装飾を持つ「ワシントン州議事堂」



体験型教育施設「ハンズ・オンこども博物館」

地上デジタル放送視聴のための支援の拡大について

総務省では、「NHK放送受信料全額免除世帯」で、地上デジタル放送が視聴できない世帯に対する支援を行っています。

このたび、その支援の対象に「市町村民税非課税世帯」が加わるようになりました。まだ地上デジタル放送に対応できていない「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」には、簡易なチューナー1台が無償で給付(配送)されます。

くわしくは、総務省地デジチューナー支援実施センター(☎0570-023724)へお問い合わせください。

NHK放送受信料全額免除世帯への支援については、総務省地デジチューナー支援実施センター(☎0570-033840)までお問い合わせください。



© 日本民間放送連盟 2011